

## 会員各位

中部経済同友会  
文化の街づくり委員会  
委員長 川村晃司  
副委員長 岡野勝  
副委員長 川瀬千賀子  
副委員長 北村栄治  
副委員長 林裕蔵  
副委員長 宮崎敏明

## 文化の街づくり委員会主催講演会のご案内

日頃は当委員会活動にご支援をいただき誠にありがとうございます。

当委員会では「故きを温ね、新しきを知る～伝統文化の継承と進化：地元資源としての文化の在り方、伝統の守り方を学ぶ～」をテーマとして、地域に息づく伝統文化の価値を捉え直し、次代へと継承していくための学びを深めております。なかでも「祭り」は、人と人、人と地域を結びつけ、地域の記憶や誇りを育んできた重要な文化資源です。一方で、担い手不足や社会環境の変化など、継承をめぐる課題も顕在化しています。このたび、こうした課題を踏まえ、祭りを中心とした伝統文化の継承について学ぶ機会として、下記のとおり講演会を開催いたしますのでご案内申し上げます。

当日は、國學院大學 観光まちづくり学部 教授の小林稔氏と、文化庁 文化資源活用課長の塩川達大氏をお招きし、地域社会における祭礼の役割や文化的価値、現代における継承の課題、次代へと文化をつなぐための視点について、それぞれのお立場からご講話いただきます。

伝統文化の継承を多角的に考える大変貴重な機会になるものと存じますので、ぜひ多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

## 記

1. 日 時 2026年2月27日（金） 12:00～14:00  
(12:00～12:30 昼食／12:30～14:00 講演)

※当委員会登録委員の皆様には、講演会終了後に講師との意見交換会を別途ご案内しております。（14:10～15:00）

2. 場 所 コートヤード・バイ・マリオット名古屋 2階 クリスタルルーム  
(名古屋市中区栄 1-17-6 TEL: 052-228-2220)

3. プログラム 講演I 「伝統文化の継承とは何か～祭りがつなぐ地域社会」  
國學院大學 観光まちづくり学部 教授 小林 稔 氏

講演II 「地域文化資源をめぐる保存・活用の現状と行政の役割」  
文化庁 文化資源活用課長 塩川達大 氏

※講師ご略歴については、次頁をご参照ください。

4. 会 費 5,000円（昼食代。当日、受付にて頂戴いたします。）

5. 申込方法 ご出席の場合は2月20日（金）までに会員専用ページよりご登録をお願いいたします。ご登録後、2月23日（月・祝）までにお取り消しのお申し出なくご欠席の場合は、会費を申し受けますので悪しからずご了承ください。



[本件問い合わせ先] 中部経済同友会事務局 羽根田、藤原  
TEL: 052-221-8901 E-mail: cace-seminar@cace.jp

以 上

## 講 師 紹 介

### 國學院大學 観光まちづくり学部 教授 小 林 稔 (こばやし・みのる) 氏

1985年3月、成城大学大学院 文学研究科修了（文学修士）。

文化庁文化財部伝統文化課において主任文化財調査官を務め、無形民俗文化財の保護・活用に携わるなど、国の立場から伝統文化の継承に関する実務に長年関わってきた。

2021年4月より國學院大學観光まちづくり学部教授。現在は、祭礼や年中行事などの民俗文化を中心に、地域社会の中で文化が果たしてきた役割や、次代へと継承していくための考え方について教育・研究を行っている。

また、各地の地域や自治体と関わりながら、伝統文化の意義や文化財を活用したまちづくりについて講演や助言を行うなど、実践と研究の双方の立場から地域文化の継承に携わっている。



### 文化庁 文化資源活用課長 塩 川 達 大 (しおかわ・たつひろ) 氏

1995年、京都大学経済学部卒業。同年 文部省（現・文部科学省）入省。

同省において、高等教育、初等中等教育、スポーツ行政など幅広い分野を担当し、あわせて岐阜県教育委員会への出向や内閣官房での勤務を通じ、国と地域をつなぐ行政実務に携わる。

文化庁文化財部伝統文化課では、文化財国際協力室長として、無形文化財や



地域に根差した伝統文化の保護・継承、国際的な文化協力に関する業務を担当した。

その後も、地域創生や教育行政の中核を担い、近年は金沢大学理事・副学長を務めるなど、高等教育機関の運営にも携わってきた。

現在は文化庁文化資源活用課長として、祭礼や民俗文化を含む地域文化資源について、保存と活用の両立を図りながら、自治体や地域団体と連携した施策の企画・推進に取り組んでいる。